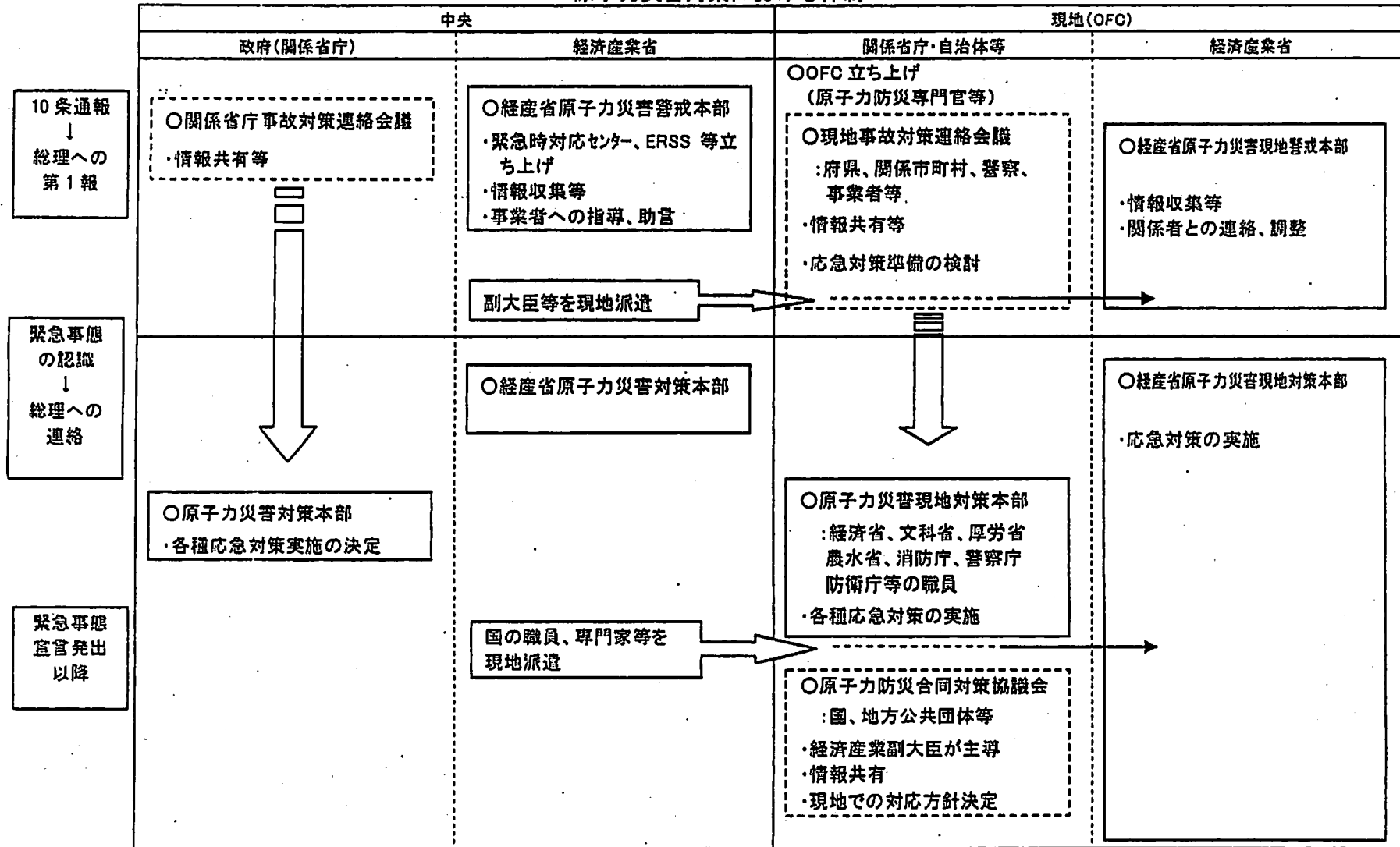
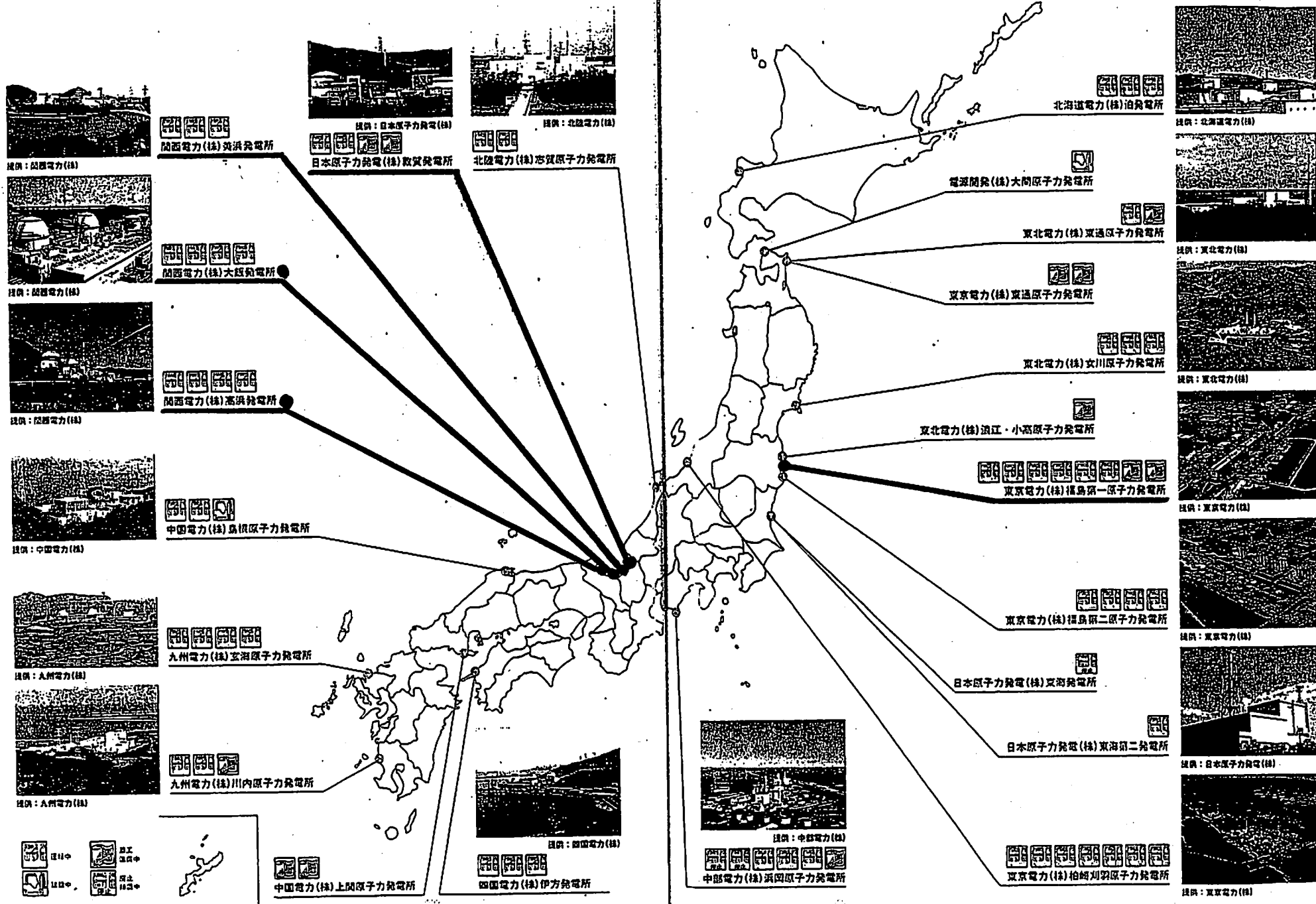


原子力防災対策関係資料

平成23年4月13日

### 原子力災害対策における体制





## 福島第一原子力発電所事故を踏まえた安全性向上対策の実行計画について（概要）

### 1. はじめに

平成23年3月11日に発生した、東北地方太平洋沖地震に起因する東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故について、現在判明している知見に基づき、できる限りの安全性向上対策を可及的速やかに実施することが必要であります。

事故発生後、直ちに福井県より安全上重要な設備の健全性確認や体制の強化、さらには安全確保機能の向上等にかかるご要請を頂いておりますが、4月2日の具体計画提出のご要請に基づき、当社が講ずるべき対策の実行計画について取り纏めたものです。

### 2. 実行計画策定方針

- (1) 津波により全交流電源、炉心冷却機能、使用済燃料ピット冷却機能の3つの機能全てを喪失したことが、事故の拡大をもたらした直接的な要因と考えられるため、その機能確保のための対策を策定する。
- (2) 津波発生時3つの機能確保のために、直ちに講じるべき対策を緊急対策として策定する。また、緊急対策により炉心、使用済燃料損傷は防止可能であるが一層の信頼性向上のため多重性、多様性拡充対策として応急対策を策定する。
- (3) 今後も情報収集、分析を継続し、新たな知見が得られた場合は、迅速かつ的確に対策を追加反映する。
- (4) 上記達成のため最優先に資源を投入するとともに、当社発電所の地域的特性を踏まえた対策についても鋭意検討する。

### 3. 具体的な対策（詳細は別紙のとおり）

#### (1) 緊急対策

- a. 設備面の対策 [電源車の確保、消火水等による炉心冷却機能確保、消火水等による使用済燃料ピット冷却機能確保、重要な設備の扉等へのシール施工等]
- b. 運用面の対策 [訓練の実施、緊急体制の確立]
- c. 実施時期 4月中旬完了予定

#### (2) 応急対策

- a. 設備面の対策 [送電線強化、防波堤のかさ上げ、海水ポンプ津波対策、使用済燃料ピット冷却機能強化としての配管敷設等]
- b. 実施時期 極力早期対策に努め、順次実施

#### (3) 全般

- a. 県民の皆さまへの情報発信を継続して実施 [○メディアの活用：新聞広告、折込、テレビ等の媒体を活用 ○理解促進活動：各戸訪問、社員一人ひとり、OB、協力社員が一体となり丁寧にご説明]
- b. 発電所へのアクセス道路の整備 [関係当局の検討に参画して最大限に協力、最優先のインフラと位置付けて積極的に整備]

なお、今後も全力を挙げて事故の情報収集、分析を継続し、新たな知見が得られた場合には必要な対策について、迅速かつ的確に反映してまいります。

以上

# 安全性向上対策の概要ならびに実施時期

別紙

	安全対策		緊急対策の実行計画		応急対策の実行計画	
	項目	概要	実施時期	概要	実施時期	
設備面での対策	電源の確保	電源車および資機材の配備、保管、健全性確認	平成23年4月10日までに実施予定 (全プラント)	非常用発電機代替設備の設置 (空冷式の移動式発電装置を設置)	平成23年度上期配置予定 (全プラント)	
		-	-	海水供給用可搬式ポンプの設置	平成23年6月までに配置予定 (全プラント)	
		-	-	送電線の強化 (計画的な改修)	中長期的に実施	
	炉心冷却機能の確保	消防車/消防ポンプおよび消火ホース他の配備、保管、健全性確認	平成23年4月12日までに実施予定 (全プラント)	タンク間の配管改造	平成23、24年度中に実施予定 (全プラント)	
		-	-	タンク周りの防護壁設置	平成24年度中に実施予定 (奥浜1・2・3号機、大浜3・4号機)	
	使用済燃料ピット冷却機能の確保	消防車/消防ポンプおよび消火ホース他の配備、保管、健全性確認	平成23年4月12日までに実施予定 (全プラント)	使用済燃料ピット冷却機能の強化 (消火水注入のための配管を設置)	平成23年度中に実施予定 (全プラント)	
		-	-	使用済燃料ピット冷却系統設備の耐震補強	平成23、24年度中に実施予定 (全プラント)	
	定期検査における特別点検	炉心冷却機能の確保 (非常用炉心冷却系統および格納容器スプレイングの健全性確認)	平成23年4月13日完了予定 (奥浜1号機) 平成23年4月7日完了 (高浜1号機)	同左	定期検査時順次実施予定 (その他プラント)	
		使用済燃料ピット冷却機能の確保 (使用済燃料ピットポンプの分解点検)				
	安全上重要な設備の機能維持のための対策	-	-	既存防波堤のかさ上げ又は防潮堤を設置	平成23年度中に実施予定 (奥浜、高浜発電所) 平成25年度中に実施予定 (大浜発電所)	
津波による冠水防止のため扉等へのシール施工		平成23年4月中旬までに実施予定 (全プラント)	水密扉への取替を実施	平成24年度上期実施予定 (全プラント)		
-		-	海水ポンプエリアに防護壁を設置	平成23年度中に実施予定 (全プラント)		
運用面の対策	運転員の全交流電源喪失対応訓練実施	運転マニュアルならびにシミュレータを用いた全交流電源喪失の訓練実施	○マニュアル:平成23年4月12日完了予定 ○シミュレータ:平成23年4月中(奥浜1号機、高浜1号機)	運転シミュレータを用いた訓練	平成23年6月中に完了予定 (その他プラント)	
	緊急対応体制の確立	緊急時対応体制の強化 (要員確保、手順書整備および訓練実施)	平成23年4月12日までに実施予定 (全プラント)	-	-	
全般	福井県の皆さまへの情報発信	○広報紙「越前若狭のふれあい」の新聞折込、テレビ等のメディアを活用したタイムリーな情報発信 ○各戸訪問などをはじめ、社員一人ひとりが福井県の皆さまに今回の事故や当社の活動について丁寧に説明することにより、理解が得られるような取り組みの実施	継続して実施	同左	継続して実施	
	発電所へのアクセス道路の整備	-	-	福井県他関係当局・地元自治体の検討に参画し、最大限協力 当社においても最優先のインフラと位置付け、積極的に整備	中長期的に実施	

## 高浜・大飯原発 圏内人口(推計)

単位:千人

### ○高浜発電所

	京都府	福井県
10km圏内	12	13
20km圏内	90	15
30km圏内	134	20

### ○大飯発電所

	京都府	福井県
10km圏内	0	23
20km圏内	4	25
30km圏内	67	41

※1 府内人口は、統合型GIS国勢調査マップ(H17)から推計

※2 他県人口は、市町村全域を含む場合は総人口(H23年3月)、一部を含む場合は総人口を面積割合で按分して推計

高浜・大飯原発 30km圏内人口・面積(推計)

○高浜発電所

	府内人口	府内面積	対象市町(人口)
10km圏内	約12,000人	82km <sup>2</sup>	舞鶴市(約12,000)、綾部市(約50)
20km圏内	約90,000人	350km <sup>2</sup>	舞鶴市(約86,000)、綾部市(約1,900)、宮津市(約700)、南丹市(約300)、京丹波町(約30)
30km圏内	約134,000人	1,017km <sup>2</sup>	舞鶴市(約91,000)、綾部市(約11,000)、宮津市(約20,000)、南丹市(約4,000)、京丹波町(約3,000)、伊根町(約1,800)、福知山市(約300)

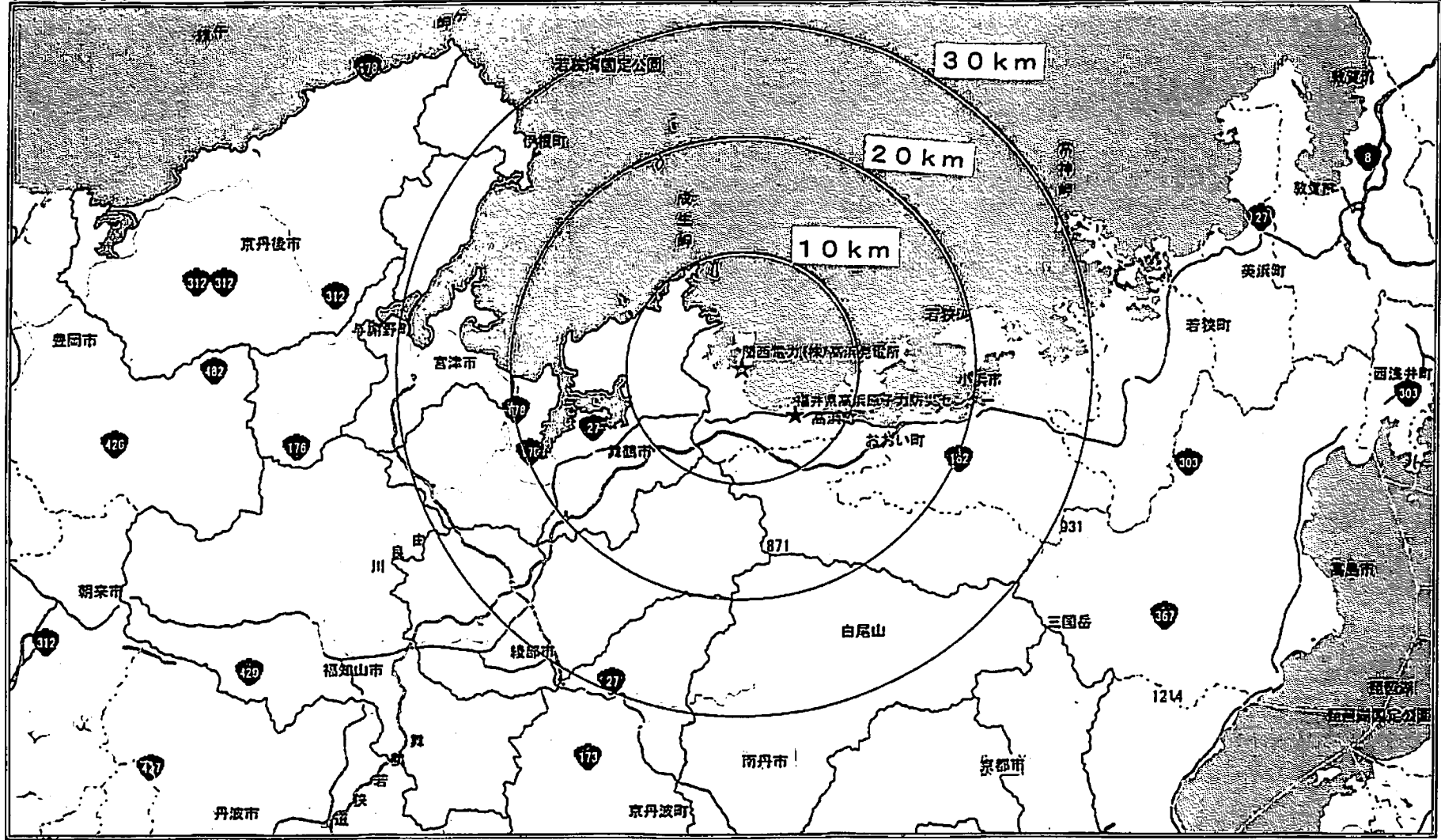
○大飯発電所

	府内人口	府内面積	対象市町(人口)
10km圏内	0	0	
20km圏内	約4,000人	52km <sup>2</sup>	舞鶴市(約3,200)、綾部市(約100)、南丹市(約100)
30km圏内	約67,000人	541km <sup>2</sup>	舞鶴市(約61,000)、綾部市(約1,900)、南丹市(約3,200)、京丹波町(約50)、京都市(約60)

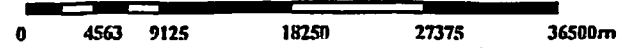
※1 府内人口は、統合型GIS国勢調査マップ(H17)から推計

※2 府内面積は、統合型GIS国勢調査マップ(H17)を基に京都府統計書の市町村別面積から推計

# 高浜原発 30 km圏内

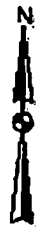
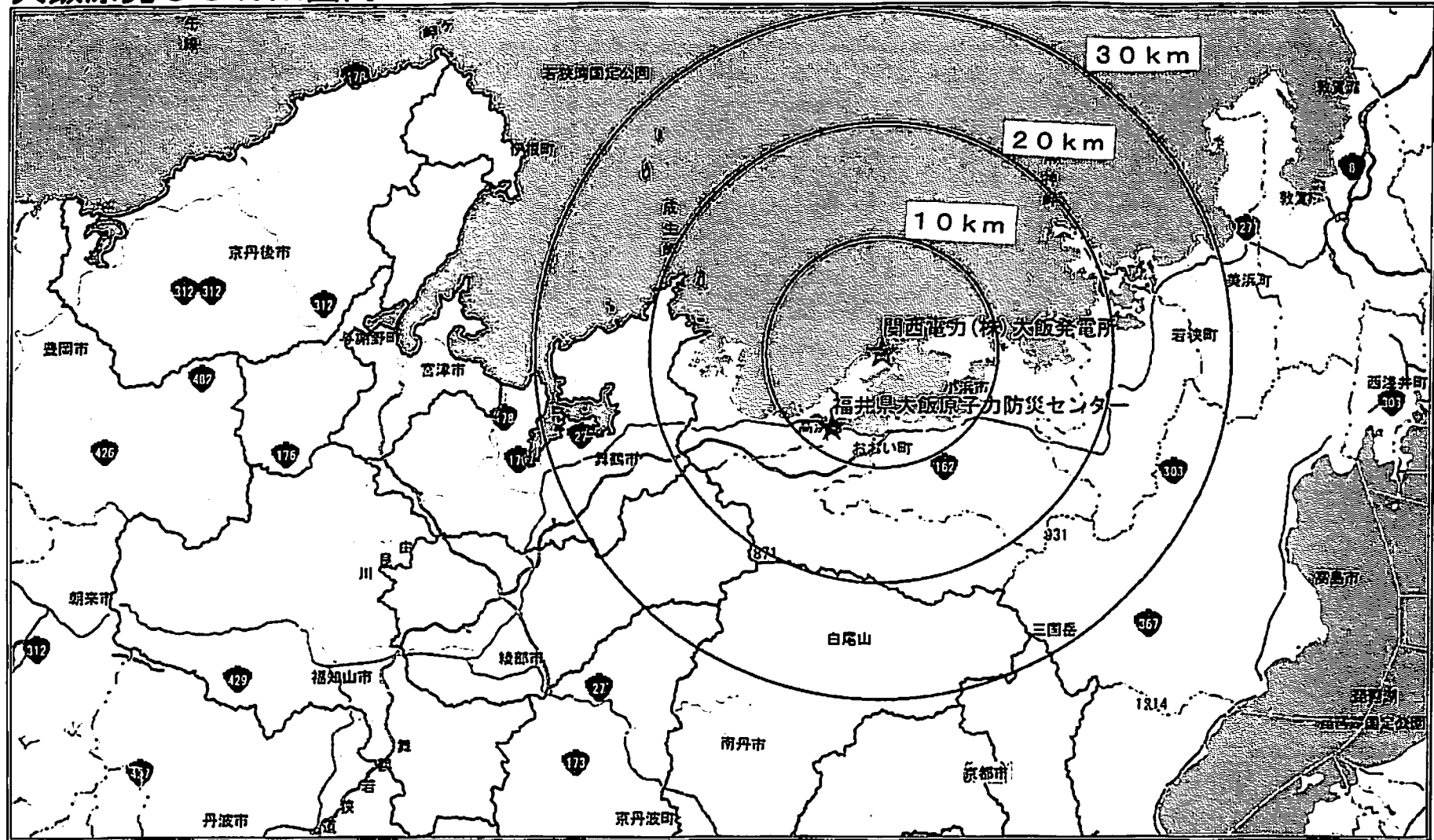


1 : 500000





# 大飯原発30km圏内



1 : 500000

